

白藍塾オリジナル

2023年度 入試小論文分析&解答のヒント

2023年4月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 早稲田・スポーツ科学部

今年度の課題もテーマ題で、「退屈の意味」について論じることが求められている。

これだけだと、スポーツと何の関係があるのかわからない人もいるかもしれないが、スポーツが本来は娯楽であり、退屈を紛らわせるために行われることも多いことを考えると、それほど突飛なテーマとも言えない。

したがって、例えば「スポーツは退屈を紛らわせるために行うものか」などと問題提起をして、スポーツを行うことの意義を論じればよいはずだ。

とは言っても、テーマはあくまでも「退屈の意味」なので、「スポーツは心身を鍛えるための行為であって、退屈を紛らわせるためといった捉え方ではスポーツの意義が損なわれてしまう」などと論じても、課題の意図とかみ合わない。「スポーツは退屈な時間を紛らわせるための遊びの一種であって、人生に必ずしも不可欠なものとは言えない。だが、退屈な時間をいかに楽しく、意味のあるものにするかを考えることに意義があり、その創意工夫の現れの一つがスポーツなのだ」など、退屈の意味とスポーツの意義とをうまく結びつけて論じることができれば、説得力のある内容になるはずだ。

もちろん、スポーツと無関係な内容で書くことも可能だが、それだと何を書いてよいのかわからなくなる人も多いと思うので、できればスポーツと結びつけて考えるほうが、書くことも見つけやすいだろう。

* 執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室 (03-3369-1179) <https://hakuranjuku.co.jp>